

「まいたに」と「めふ」をつなぐ、米谷自治会広報誌

まめだより

2013.9
秋号

創刊号



『まめだより』創刊にあたり

●シリーズ「たいせつないのちを まもるために」

自主防災会、いよいよ始動!!

●秋・冬のイベント満載!! 参加者募集中!! …… イベントひろば

●会員投稿コーナー～あなたの声が記事になる～…… みんなの声

●7・8月の自治会活動報告…… トピックス

少子・高齢化がすすむ中で、いま、自治会の果たす役割が注目されています。この機会に、ご近所さんとのふれあいについて、再認識してみませんか？

【まめだより】創刊にあたり

平素は米谷自治会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

ます。皆様にはこれまで以上に自治会にもっと親しみを感じてもらいたい：そんな願いから、独自の広報誌『まめだより』を創刊する運びとなりました。毎月の回覧でお伝えしきれない内容を、季節ごとに盛りだくさんでお届けし、また組織からの一方的な告知ばかりではなく、会員の方からの投稿なども積極的に掲載、「双方向型」の身近な情報交換の場としてお役に立ちたいと考えています。

①安心・安全のまちづくり（自主防災会による災害時の対策や、近隣自治会・警察との連携によるパトロール等、防災・防犯、交通安全に対する対策。）
②交流を深めて快適なまちづくり（盆踊りやだんじり曳行、研修旅行など各種レクリエーションを通じての親睦活動。）
③住みよい環境のまちづくり（ゴミステーションや公園、街路灯などの管理や「宝塚を美しくする運動」への参加など。）
④大切な生活情報のお届け（地域のイベント情報や行政からの通達

戸、エリアは米谷1・2丁目、売布

1丁目の一部と2～4丁目、売布山手町の山林部分にまで及び、12組・79班で構成される大きな自治会です。米谷会館（米谷2丁目）を本拠地とします。

事項を回覧にて敏速にお届け。）

⑤自治会活動保険で会員のケガ等を補償（皆さまが安心して自治会活動に取り組めるよう、万一大事故に備えています。）

これらは会員の皆様一人ひとりの積極的な参加により、有意義なものとなり、理想的な地域コミュニティの育成へつながります。

自治会の主な取り組み

では、自治会ではどんなことをしているのでしょうか？ 主な活動は以下の5つです。

①安心・安全のまちづくり（自主防災会による災害時の対策や、近隣自治会・警察との連携によるパトロール等、防災・防犯、交通安全に対する対策。）
②交流を深めて快適なまちづくり（盆踊りやだんじり曳行、研修旅行など各種レクリエーションを通じての親睦活動。）
③住みよい環境のまちづくり（ゴミステーションや公園、街路灯などの管理や「宝塚を美しくする運動」への参加など。）
④大切な生活情報のお届け（地域のイベント情報や行政からの通達

ここで『米谷自治会』について少しお話させていただきます。

宝塚市には現在215の自治会が存在し、1つの自治会の平均加入世帯数は275世帯です。（※平成25年6月現在。宝塚市自治会連合会報『Myたからづか』より）その中でも米谷自治会は



米谷自治会 会長 蘭田貞夫

平成25年8月

『まめだより』という名前には、「まいたに」の『ま』、「めふ』の『め』とそれぞれの頭文字をとり、そこから情報を「ママ」と発信していくことを、という思いを込めました。今後ともどうぞ『まめだより』を可愛がってください。

安心・安全のまちづくり

自主防災会、いよいよ始動!!



す。各家庭で十分な備えをするとともに、ご近所同士で助け合える関係を作つておくことも大切のことです。

今年3月に各ご家庭用に「避難所マップ」を作成・配布しました。ぜひ「最寄りの避難所」「家族の集合場所」「避難所までの経路」「家族の連絡先」を記入し、ご家族と話し合い、見えるところに貼ってください。避難所の制定に伴い、7か所の自治会指定避難所（公園、中国道高架下）には指定避難所の看板を掛けます。

今年1月に宝塚消防署に米谷自治会自主防災会立ち上げを申請し、受理されました。これにより、いざというときの市・消防・警察など公的機関からの情報・指示等の連絡ルートはできましたが、具体的な公の援助には限界があります。阪神淡路大震災においても、家屋の倒壊、火災などにより救助を必要とした方のうち公助はわずか1・6%。98%以上が自助、共助による救助でした。やはり「自分の身や家族は自分たちで守る」「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」ということを前提にいろいろな備えをする必要がありま



今後も「まめだより」では毎号防災関連ニュースを取り上げ、「みんなで考え、行動する」を指針にしていきたいと思います。

ただ今、奮闘中!

30年ほど前に模型店のオーナーから「根気があれば誰でも出来ます」と言われて始めた木製の帆船模型作り。不器用さと根気の無さで約半年で、ものの見事に挫折。昨年6月に再挑戦する機会があり、今回は時間に余裕があることも相まって、現在3艘目を製作中です。

そして、妻に内緒の4艘目が作業台の横で開封されるのをじっと待っています。同好の士、興味がある方と情報交換したいと思っています。

〈連絡先〉壳布4丁目 笹田
(☎090-3613-2466)



「みんなの声」では、会員の皆様からの投稿を募集しています。かわいいペットやお子様・お孫様の微笑ましい写真、イラストや俳句・川柳、手作り作品の公開、日常にあった「ちょっといい話」やお友達の募集など、さまざまな『声』をお待ちしています。こちらのコーナーに掲載ご希望の方は、各組長さん・班長さんまでご連絡ください。



みんなでたのしくイベントひろば

「イベントひろば」では、米谷会館をはじめ米谷自治会エリアでの催し物やお得な情報をひとあし早くお届けします。また、米谷会館を利用しての各種教室の講師をしていただける方も募集中! 詳しくは各組の組長さんへお問い合わせください。



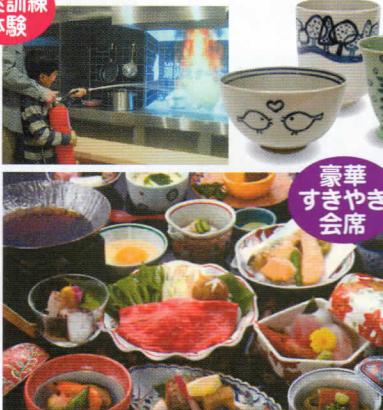
先人たちの思いを引き継いで…
地元青年団の晴れ姿に注目!

賣布神社 秋季例大祭

● 日 時 平成25年10月18日(金)
所 在 地 平成25年10月18日(金)
時 間 午前9時～午後11時
場 所 米谷・売布・清荒神 近郊

1800年代から続いている地車曳行を今の青年團が行っています。米谷の地車は宝塚の中でも最大級で宝塚型の特徴である見おり幕が迫力のある龍虎を着飾っています。米谷は1つの町で西と東のだんじりを持ち、幕も1対になっているのも特徴です。1日目は最大の見せ場、売布神社に上がる時の「宮入」が、2日目は清荒神参道と売布神社でバンザイがあり、盛大に盛り上がります。ぜひ見に来てください。

防災訓練 体験



● 参加資格 自治会員と同居のご家族
申込 9月10日までに組長、班長さんまで参加費を添えて申し込み下さい。

● 行先 大阪、滋賀方面
● 参加費 5000円／1人
(大人、子供とも)

● 日時 平成25年11月3日(日・祝)
● 参加費 5000円／1人
(大人、子供とも)

今年で40回目! 繼続の秘密は
何と言つてもその「魅力」
研修旅行参加者募集

● 日 時 平成25年11月16日(土)
● 場所 米谷会館 2階調理室
● 募集人数 9組(先着順)
● 参加料 300円／1組(材料費)
● 持参するもの 果物ナイフ
● 申込 84・96661



今日は「バナナ」と「リンゴ」の飾り切りが習得できます。見て楽しく、誕生会やお弁当の飾り、子供さんやお孫さんのおやつ作りに知っていると便利です。

おいしくて楽しい!
まめだよりクッキング
果物の飾り切り教室

● 日 時 平成25年12月7日(土)
● 場所 米谷会館 1階集会室
● 募集人数 20組、先着順
● 参加料 300円／1組(材料費)
● 持参するもの 縫い針
● 申込 86・76308
奥田敏子 (講師)婦人会副代表



お手玉の作り方!
遊び方を習いましょう

7・8月の自治会活動報告



今回で3回目の心肺蘇生法とAEDの使い方の体験講習を実施しました。宝塚西消防署の精鋭の皆さん、実践的で分かりやすい指導で自治会組長・班長、米寿会、婦人会、青年団、子供会の皆さん達が体験しました。使い方を理解、習得し「いざ」と言うとき役に立つのは実体験が一番です。ご家族のみなさんのためにも次回講習会には是非ともご参加ください。

AED講習会

7月1日(月)

米谷盆踊り 世代を超えて交流の輪

8月3日(土)・4日(日)



2日目には『カキ氷早食い大会』を開催。団長、副団長の健闘虚しく、OBさんに完敗でした。また、毎年恒例のbingo大会の盛り上がりも上々、大盛況のうちに幕を閉じました。

両日とも天候に恵まれ、皆様のご協力のうえ、米谷盆踊り大会を無事盛大に執り行うことが出来ました。来年度もより盛大な盆踊り大会を開催できるよう、我々も精一杯頑張りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

* * * * *

いっぱい楽しめました！（子ども会）



子どもたちからも元気なコメントが寄せられています。▽お客様がたくさん来ててくれてうれしかったです。
(お店のお手伝いをしてくれた子ども)▽お店がたくさんあつて、とてもぎやかで楽しかったです。

(米谷青年団)
今年も例年通り中国道高架下広場で米谷盆踊りが開催されました。お揃いの浴衣で格好良く決めた婦人会の方々や小学生・中学生などが青年団の叩く太鼓に合わせて盆踊りを踊ってくれ、皆で楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

今年も例年通り中国道高架下広場で米谷盆踊りが開催されました。お揃いの浴衣で格好良く決めた婦人会の方々や小学生・中学生などが青年団の叩く太鼓に合わせて盆踊りを踊ってくれ、皆で楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



「米谷会館」つて何？
Q なんぞこ？

A 地域住民の集会場としてはもちろんのこと、各種教室やボランティア活動の拠点として、また災害時の市の予備避難所としても活用されます。米谷自治会は今年自主防災会を立ち上げ、その本部としての機能を会館に構築する予定です。

Q どこにあるの？

A この質問が残念ながらよくあります。住所は米谷2-17-1、1-23、84-9955です。阪急芦布神社駅から会館近辺にかけての案内板および自治会掲示板での案内を取付けましたのでご活用ください。

Q 編集後記

「思いを人に伝えることの難しさと楽しさを感じつつ『まだより』」の創刊号づくりに取り組みました。

自治会のやろうとしていることを知っていただくことにより興味も意見も要望もいただき、そして参加もしていただき、そんな双方の自治会でありたい。「まだより」はその一助となるよう、いま発進です。